

令和6年度 春日山原始林・奈良公園フィールドワーク

第7回 概要報告

奈良教育大学 ESD・SDGs センター 研究員 杉山 拓次

実施日：2024年10月19日（土）9:00～13:00

参加者：10名 ※ティーチャープログラム5名 ESDと世界遺産5名

（オープンクラス受講生1名を含む、教職員：杉山、中澤）

ティーチャープログラム申込者2名、ESDと世界遺産1名が欠席、1名途中離脱

■実施場所：春日山原始林

■第7回 秋の春日山原始林（春日山遊歩道北部～若草山）

2024年10月19日（土）9:00～13:00

概要：秋の春日山原始林を歩きます。少しずつ紅葉が始まる春日山を歩き季節の移り変わりを感じます。

09:00 春日大社国宝殿カフェ前集合

3名の欠席、1名は前日に連絡があり途中で抜けることを確認。

09:05 自己紹介、簡単な体操。

09:15 春日大社国宝殿カフェー水谷神社ー春日山遊歩道ー若草山山頂ー若草山下山

12:50 若草山南ゲートにて解散

■概要報告

当日は、曇り空であったが、気温もの適度で歩きやすい季節を感じる事ができた。

参加者の中は、これまで春日山原始林を歩いたことがある方もいたが、解説を聞きながら森を歩くことは初めてだったため、春日山原始林の木々や史跡などの解説が新鮮だったようだ。五感の体操では、目を閉じて光や音を感じると共に、耳を澄ます体験が特に印象に残ったようだ。原始林内では、タゴガエルが飛び、マムシも観察することができた。落葉紅葉樹が少しずつ色づき始めている状態も感じる事ができた。途中雨が降り出すなど、気候の変化があったものの、予定通りのスケジュールで実施することができた。

■写真



五感の体操（みみをすます）



ルーペで見る